

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 57166702
PUBLICATION DATE : 14-10-82

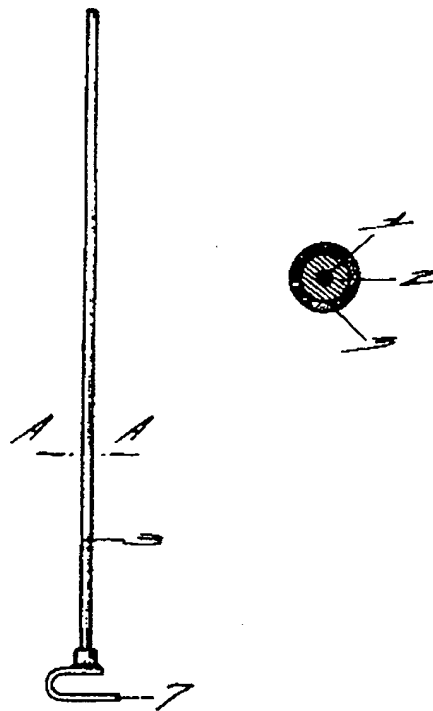
APPLICATION DATE : 07-04-81
APPLICATION NUMBER : 56051982

APPLICANT : KOSUGI SEIKI SEISAKUSHO:KK;

INVENTOR : KOSUGI SHOZO;

INT.CL. : H01Q 1/36

TITLE : ANTENNA



BEST AVAILABLE COPY

ABSTRACT : PURPOSE: To shorten the overall length of an antenna fitted to a running vehicle such as a car by covering a conductive core such as a copper wire with an electric insulating film, and sticking a carbon film or carbon coating film to said insulating film.

CONSTITUTION: A copper wire 1 is covered with an electric insulating film 2 of a synthetic resin material and to this film 2, a carbon film 3 formed by impregnating carbon fiber with a thermosetting synthetic resin material and then setting the resin. Then, a fitting metallic fixture 7 is fitted to form an antenna for a running vehicle. In this constitution, the conductive core and carbon film perform transmission and reception additionally to improve transmitting performance and receiving performance, and also to shorten the overall length of the antenna, which is durable mechanically.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

①⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—166702

⑤Int. Cl.⁹
H 01 Q 1/36

識別記号

庁内整理番号
7125—5 J

④公開 昭和57年(1982)10月14日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

⑤ アンテナ

東京都足立区千住旭町7番25号

⑦出願人 有限会社小杉精機製作所

東京都足立区千住旭町7番25号

⑦代理人 弁理士 杉山泰三

②特 願 昭56—51982

◎出 願 昭56(1981)4月7日

⑦発 明 者 小杉正三

明 細 明 書

發明の名稱 ア ン チ ナ

特許請求の範囲

銅線等導電芯に電気絶縁被膜を、また同絶縁被膜にカーボン被膜かカーボン塗装被膜かを夫々被着したことを特徴とするアンテナ。

発明の詳細な説明

本発明は主として自動車等走行車に取付けるなどして用いる新型のホイップ型等のアンテナに関するものである。銅線等導電体に電気絶縁被膜を、また同絶縁被膜にカーボン被膜かカーボン塗装被膜かを夫々被覆したことを要旨とするものである。

尚、第1図および第2図に示す実施例は銅線(1)に合成樹脂材料電気絶縁被膜(2)を、また同絶縁被膜(2)に炭素繊維に熱硬化性合成樹脂材料を含浸して硬化せしめたカーボン被膜(3)を夫々被着したものであり、

また、第3図に示す実施例は複数本の銅線(4) ... を導電芯としこの各銅線(4) ... にガラス繊維に熱硬化性合成樹脂材料を含浸して硬化せしめたカーボン被覆(2)を夫々被覆したものであり、

また、第3図に示す実施例は複数本の銅線(4) ...を導電芯としこの各銅線(4) ...はガラス繊維に熱硬化性合成樹脂材料を含浸して硬化せしめた電気絶縁被膜(5)を被着してロッド状とし、このロッド状体の表面にカーボン酸塩被膜(6)を被覆したものである。

図に、図中(7)は取付金具を示す。

本発明アンテナは叙上の如き構成になるので銅線等導電芯とカーボン被膜とが送信作用（または受信作用）を相加的に果すものであつて其の送（受）信力は比類がないほど抜群に強力であるのみならずこれにより全体の長さを短くすることが可能になつて自動車等走行車などに取付けるに際して極めて好都合であり、また全体が機械的に丈夫で耐久性に優れているものである。

尚、本発明は導電芯にガラス繊維を合成樹脂でかためた絶縁被膜を同絶縁被膜にカーボン繊維を合成樹脂でかためたカーボン被膜を夫々被覆するなどして実施する場合もある。

図面の簡単な説明

図は本発明アンテナの実施例を示すものであつて、第1図は全体の斜視図、第2図は第1図A—A線に沿う断面図、第3図は別具の実施例を示すものであつて断面図である。

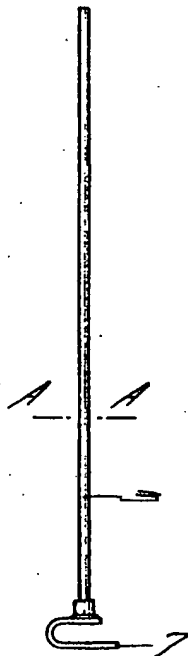
(1)(4)・・・銅線、(2)(5)・・・絶縁被膜、(3)(6)・・・カーボン被膜、(7)・・・取付金具。

特許出願人 有限会社小杉機械製作所

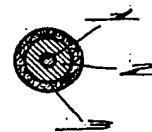
代理人 弁護士 杉山 盛三



第 1 図



第 2 図



第 3 図



BEST AVAILABLE COPY